

## イエスさまの死<sup>し</sup>

### ひとの死<sup>し</sup>

じぶんたちのまわりで、最近<sup>さいきん</sup>なくなつたひとがいますか。死<sup>し</sup>んだひとはどこへ行<sup>い</sup>つてしまふのでしょうか。死<sup>し</sup>んだあとの状態<sup>じょうたい</sup>はどんなになるのか、じぶんが考<sup>かんが</sup>えていることを、次<sup>つぎ</sup>の空白<sup>くうはく</sup>に書<sup>か</sup>いて下<sup>くだ</sup>さい。

## イエスさまの死<sup>し</sup>

いまから二千年<sup>にせんねん</sup>ほどまえ、いまのイスラエルにあるエルサレム<sup>まち</sup>の町<sup>まち</sup>で、あるユダヤ人<sup>じん</sup>が、ローマ人<sup>じん</sup>によつて、十字架<sup>じゅうじか</sup>にかけられて殺<sup>ころ</sup>されました。この人<sup>ひと</sup>は、イエスと呼ば<sup>よ</sup>ばれていました。

ローマ人<sup>じん</sup>は、そのとき、ユダヤ人<sup>ひと</sup>のびとを、自分<sup>じぶん</sup>たちの支配<sup>しはい</sup>下<sup>か</sup>におさめていたので、こころよく思<sup>おも</sup>わないユダヤ人<sup>じん</sup>たちは、ローマ人<sup>じん</sup>にむかつて反乱<sup>はんらん</sup>をおこしたりしました。しかし、ローマ人<sup>じん</sup>にはむかつた人<sup>ひと</sup>は、とりおさえられ、見<sup>み</sup>せしめとして、十字架<sup>じゅうじか</sup>にかけて殺<sup>ころ</sup>さ

れていました。

イエスさまも、こうした人たちと同じように殺されたので、べつに特別に、目をとめる必要はなかったのです。

ところが、のちに、ローマ帝国内に、キリスト教徒と呼ばれる人たちがあらわれ、皇帝が、いっしょうけんめい迫害したけれども、滅びることなく、ついには、ローマ帝国の中で、国教として認められるまでになりました。

このキリスト教徒と呼ばれている人たちは、あの十字架にかけられて殺されたイエスさまの弟子たちの集まりから出発しているのです。

いったい、イエスさまはどういう人なのでしょう。どうして、イエスさまの弟子たちは、あんなに迫害されながらも、それにたえていけたのでしょうか。わたしたちは、どうすれば弟子たちのようになれるのでしょうか。

